

全建発第6－119号
令和6年8月2日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

第706回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）
開催のご案内について

謹啓 本会事業について、平素よりご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、本協会では、標記建設技術講習会を別紙の通り開催いたします。

本講習会は、能登半島地震を踏まえた上下水道一体での対応及び上下水道分野のウォーターPPP推進、上水道部門は上水道行政の最近の動向、水道水質管理の最近の動向、上水道における管路更新を促進するための取組、水道事業における先端技術の活用及び地方公共団体における水道広域化、下水道部門は下水道行政の最近の動向、下水道事業の持続と進化に向けた事業マネジメントの推進、地方公共団体におけるDX推進等の取組及び地方公共団体の下水道事業への支援などについて学ぶことを目的としています。

つきましては、貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎 TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640 MAIL kensyu@zenken.com
--

国土交通省地方整備局 企画部長 殿
都道府県 建設関係部局長 殿
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和
(公 印 省 略)

第706回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）
開催のご案内について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本協会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約5.7万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本協会の講習会は、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、i-Construction とインフラ分野のDX、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と i-Construction の取組など、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第706回建設技術講習会は、能登半島地震を踏まえた上下水道一体での対応及び上下水道分野のウォーターPPP推進、上水道部門は上水道行政の最近の動向、水道水質管理の最近の動向、上水道における管路更新を促進するための取組、水道事業における先端技術の活用及び地方公共団体における水道広域化、下水道部門は下水道行政の最近の動向、下水道事業の持続と進化に向けた事業マネジメントの推進、地方公共団体におけるDX推進等の取組及び地方公共団体の下水道事業への支援などについて学ぶことを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴機関職員が参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

第706回建設技術講習会のポイント



上下水道行政一元化 初年度の最新トピック

○開催日：令和6年10月2日（水）～4日（金）

○開催場所：茨城県水戸市

○テーマ：上水道行政の課題・下水道行政の課題〈2会場〉

○主な講義内容

- ・「能登半島地震を踏まえた上下水道一体での対応等について」最新情報を紹介
- ・国土交通本省等の講師が、上下水道分野における最新の施策と取り組みを紹介
- ・上下水道各分野における地方公共団体の先進的な取り組みを紹介

○現場研修

- ・3施設からなる中心市街地エリアの新しいにぎわいづくり 水戸市民会館及びMitoriO地区〔水戸市〕
- ・シールドマシンで掘進を行う導水路の視察 霞ヶ浦導水事業（那珂機場及び立坑）〔関東地整〕
- ・新たな高度浄水処理技術（オゾン促進酸化処理）を導入 霞ヶ浦浄水場〔茨城県〕※A
- ・霞ヶ浦の水質汚濁を防止する高度処理を実施 霞ヶ浦浄化センター〔茨城県〕※B

※A Bいずれか1箇所の視察を選択していただきます。

主催：（一社）全日本建設技術協会、茨城県（予定）、水戸市（予定） 後援：国土交通省

第706回建設技術講習会（上水道行政の課題・下水道行政の課題）概要
～上水道行政及び下水道行政施策の最新情報と重要施策の具体の取組について学ぶ～

会場 …… 水戸市民会館（ユードムホール／小ホール）
〒310-0026 茨城県水戸市泉町1-7-1 TEL029-303-6226

（1日目）開場11:40		令和6年10月2日（水）（合同）ユードムホール（4F）		（敬称略）
12:40 13:00	あいさつ	茨城県知事 水戸市長 （一社）全日本建設技術協会 常務理事	大井川 和彦 高橋 栄靖 秋山 栄一	
13:00 14:00	能登半島地震を踏まえた上下水道一体での対応等について	国土交通省大臣官房参事官（上下水道技術） 付課長補佐	大 上 陽 平	
14:10 15:10	上下水道分野のウォーターPPP推進について	国土交通省水管理・国土保全局 上下水道企画課課長補佐	原 澤 貴 史	
15:20 15:40	【地域事業の紹介①】 霞ヶ浦導水事業について	国土交通省関東地方整備局 霞ヶ浦導水工事事務所副所長	杉 山 直 史	
15:40 16:00	【地域事業の紹介②】 霞ヶ浦浄化センターにおける高度処理技術	茨城県土木部流域下水道事務所 水質管理課主査	渡 辺 万 里	
16:00 16:20	【地域事業の紹介③】MitoriOから始まる都市再生 ～再開発で誕生した水戸市民会館の未来～	水戸市都市計画部参事兼都市計画課長	須 藤 文 彦	
17:30 19:00	「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」＜希望者のみ＞ レストラン アンドミー（水戸京成ホテル）			
（2日目）開場 9:00		10月3日（木）（上水道部門）ユードムホール（4F）		（敬称略）
9:40 10:40	上水道行政の最近の動向	国土交通省水管理・国土保全局水道事業課 課長補佐	武 田 正太郎	
10:50 11:50	水道水質管理の最近の動向	環境省水・大気環境局環境管理課 水道水質・衛生管理室室長補佐	野 澤 泰	
13:00 14:00	上水道における管路更新を促進するための取組 ～PFIの導入による基幹管路耐震化の推進～	大阪市水道局工務部配水課課長代理	吉 澤 源太郎	
14:10 15:10	水道情報活用システム及び水道事業における普及 展開の動向について	独立行政法人情報処理推進機構 デジタル基盤センターDX部研究員	佐 藤 聡	
15:20 16:20	地方公共団体における水道広域化	香川県広域水道企業団本部計画課課長	渡 邊 香一郎	
16:20	閉会のあいさつ	茨城県土木部次長兼総括技監（技術）	石 川 昭	
（2日目）開場 9:00		10月3日（木）（下水道部門）小ホール（4F）		（敬称略）
9:40 10:40	下水道行政の最近の動向について	国土交通省水管理・国土保全局 上下水道企画課長補佐	前 川 幸 大	
10:50 11:50	下水道事業の持続と進化に向けた事業マネジメントの推進（仮）	国土交通省水管理・国土保全局下水道事業課 事業マネジメント推進室課長補佐	土 師 健 吾	
13:00 14:00	川崎市下水道事業におけるDX推進（仮）	川崎市上下水道局下水道部 下水道計画課（技術開発担当） 担当課長	端 谷 研 治	
14:10 15:10	地方公共団体の下水道事業への支援 ～日本下水道事業団（JS）の取組みについて～	地方共同法人日本下水道事業団事業統括部 計画課長	山 縣 弘 樹	
15:20 16:20	神奈川県葉山町の取組みについて（仮）	葉山町環境部下水道課主査	秋 本 圭 介	
16:20	閉会のあいさつ	水戸市建設部長	大 和 直 文	
（3日目）集合 7:50～		10月4日（金）【現場研修】		

大型車両待機場（水戸市民会館付近）（8:10）出発
→ 水戸市民会館及びMitoriO地区〔水戸市〕→ 霞ヶ浦導水事業（那珂機場及び立坑）〔関東地整〕
→ 昼食（土浦市内）→ Aコース：茨城県霞ヶ浦浄水場〔茨城県〕
→ Bコース：霞ヶ浦浄化センター〔 〃 〕
→ 土浦駅（16:00）着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合もありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第706回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 水戸市民会館及びMitori0地区〔水戸市〕

…………… 茨城県水戸市

- ・水戸市では、芸術文化を通じた交流を深める拠点形成を目指すとともに、人々が気軽に立ち寄り、まちなかでくつろぐことができる新たな市民会館を整備。県内最大の2,000席のグロービスホール等を有する。
- ・組合施行による市街地再開発事業の保留床を水戸市が取得し、令和5年7月2日に開館。
- ・水戸芸術館、水戸京成百貨店との3施設からなるエリアを「Mitori0」と称し、一体的な魅力発信交流拠点として様々なコンサートやイベント等を行う等、中心市街地の新しいにぎわいづくりを進めている。



2 霞ヶ浦導水事業（那珂機場及び立坑）〔関東地整〕

…………… 茨城県水戸市ほか

- ・霞ヶ浦導水事業は、那珂川下流部、霞ヶ浦及び利根川下流部を連結する地下トンネルによる流域調整河川を建設し、河川湖沼の水質浄化、既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進、水道及び工業用水の供給の確保を目的とした事業。
- ・霞ヶ浦導水路は、利根川水系における上流ダム群、中下流域の貯水池、湖沼開発、河口堰とあわせ、限られた水資源を有効に活用するため、那珂川・霞ヶ浦・利根川を結び那珂川水系もあわせた水のネットワークを形成する。
- ・今回の現場研修では、那珂川から霞ヶ浦へ水を送る那珂機場と、シールドマシンによる掘進を行う石岡トンネルの視察を予定（工事の進捗により変更の可能性あり）。（写真は玉里立坑（小美玉市））



3 霞ヶ浦浄水場／霞ヶ浦浄化センター〔茨城県〕

…………… 茨城県土浦市

- ・霞ヶ浦は、国内第2位の広さを誇る湖。昭和40年代後半からの流域人口の増加や社会経済活動の進展等に伴い、急激な富栄養化による水質汚濁が進み、COD、窒素及びりん的环境基準を達成できない状況が続いている。
- ・霞ヶ浦浄水場は、水道水の原水となる霞ヶ浦の高濃度カビ臭の除去と、浄水コスト削減のため、民間企業と共同で実証実験を重ね、新たな高度浄水処理技術（オゾン促進酸化処理）を導入した浄水処理施設となっている。
- ・霞ヶ浦浄化センターは、県内4市1町の生活排水等の処理を行う。霞ヶ浦の水質汚濁防止のため、高度処理を実施して処理水を放流している。（写真は令和6年度供用開始の霞ヶ浦浄水場 オゾン促進酸化処理施設）



※3 はいずれか1箇所の視察を選択していただきます。

第706回建設技術講習会【聴講】について

1. 申込方法：以下の専用ページからお申し込みください

https://niccs.nishitetsutavel.jp/ntc_evt_reception/app/QG01189301

※FAQ及び専用ページ内の「操作方法のご案内」をお読みください。

前開催から操作方法の変更がありますので必ずご確認ください。

次頁7. お申し込み（入力内容）についてのご注意 もご確認ください。

2. 聴講料：以下の表を参考にご確認ください（金額は税込み）。

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,800円	13,700円	13,700円	13,700円
開催県内に勤務	13,700円 ※3	2,100円	2,100円 ※ 2	—
開催県内の市町村に勤務※1	2,100円	0円	—	—
開催地区連合会管内の市町村に勤務 ※1	18,800円	2,100円	—	—
30歳未満	18,800円	2,100円	—	—
開催県内の学生	0円	—	—	—

※1 政令市職員は対象外です

※2 特別会員は開催県内に勤務又は在住の方が対象です

※3 非会員は国・県・政令市に勤務の方のみが対象です

※一般(非会員)／会員の確認をしますので、お間違えのないようにご注意ください。

3. 聴講料の振込

次の銀行口座にお振り込みください。振込手数料はご負担願います。

三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ) ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

(お願い) お振込者名義(協会名等)の前に、開催回数の「706」を付してください。

(例：「706サイタマケン」)

手続き上、不可能な場合はkensyu@zenken.com まで振込日と名義をお知らせください。

なお、聴講料は原則、受付確認のメール受信後から開催前日までの間にお振り込みをしていただくようお願いします。

※振り込み後、銀行振込の控え等を kensyu@zenken.com へ送付してください。

※会場でのお支払いはご遠慮願います。

4. 申込締切：令和6年9月4日（水）正午まで（必着）

・締切日時以降に行われたお申し込みは受理できない場合がありますので、お申し込み前に必ずご相談の連絡をお願いいたします。

5. 変更・取消：全建・西鉄旅行 共用アドレス

Mail: nishitetsu@zenken.com までご連絡ください。

なお、取消の場合は以下の取消料が生じます。

取 消 日	取 消 料
7 日 前 ～ 前 日	聴講料の 5 0 %
当 日	聴講料の 1 0 0 %

講習会終了後、所属協会等の指定口座へ取消料及び振込手数料を差し引いた金額をご返金いたします。

なお、申込み以降に発生した災害対応業務に係る取消の場合は、取消日に関わらず全額（振込手数料は本会負担）をご返金いたします。

6. その他

- ・テキストは当日受付にてお渡しいたします。
- ・受講証は各日の講義終了後にお渡しいたします。
- ・参加者には、国内旅行傷害保険をお掛けいたします。
- ・事故防止のため、自家用車での参加はご遠慮願います。
- ・講習会情報については全建ホームページ (<http://www.zenken.com/>) をご覧ください。

7. お申し込み（入力内容）についてのご注意

（以下の入力についての間違いが多くなっております）

- ・「地方協会＊」欄は、プルダウンの1）～8）の中から、所属する地方協会等が所在する地区を1つ選択した後、次に表示されるプルダウンで**所属機関名**を選択してください。
（所属機関が選択肢にない場合のみ、所在する都道府県を選択してください。）

- ・申込者と参加者が異なる場合は、「申込者名／参加者名」欄に表示されている「申込者名（漢字表記）」を「**参加者名**」に**上書き**してください。また、「参加者名（カナ）」欄には参加者名をカタカナで入力ください。

8. お問合せ先

① 聴講・現場研修の内容等について

（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎

TEL 03-3585-4546 E-MAIL kensyu@zenken.com

登録番号：T4010405000433

② 現場研修の申込み

「第706回建設技術講習会【現場研修】について」に記載しています。

③ 宿泊斡旋の申込み

「宿泊斡旋のご案内」に記載しています。

第706回建設技術講習会【現場研修】について

- 日程：令和6年10月4日（金）8:10～16:00
 集合（乗車）7:50～
 大型車両待機場（水戸市民会館付近）（8:10）出発
 → 水戸市民会館及びMitori0地区〔水戸市〕
 → 霞ヶ浦導水事業（那珂機場及び立坑）〔関東地整〕
 → 昼食（土浦市内）
 → **Aコース**：茨城県霞ヶ浦浄水場〔茨城県〕
 Bコース：霞ヶ浦浄化センター〔 〃 〕
 → 土浦駅（16:00）着後解散
 ※A／Bコースを選択いただきます（午前中の視察先と解散時間は共通です）。
 ※現場研修のみの参加はできません。
 ※上記行程は都合により変更となる場合があります。
- 募集人数：**160名（先着順）上下水道 A／B各コース80名**
 ※視察先及び行程の都合により、定員制限をさせていただきますのでご了承ください。
 ※両コースいずれも募集人数に達した時点で、現場研修の申込みを締め切ります。
- 添乗員：（一社）全日本建設技術協会 事務局員及び西鉄旅行㈱添乗員
- 現場研修料：12,400円（税込）
 ※昼食の費用は含まれておりません（各自で自由昼食となります）。
- 申込方法：聴講とあわせて、以下の専用ページからお申し込みください。
https://niccs.nishitetsutransport.jp/ntc_evt_reception/app/QG01189301
 ※FAQ及び専用ページ内の「操作方法のご案内」をお読みください。
前開催から操作方法の変更がありますので必ずご確認ください。
 特に、現場研修料のお支払い方法については、
 「操作方法のご案内」P13～22を必ずご確認ください。
- 申込締切：令和6年9月4日（水）正午まで（必着）
 ・**締切日時以降に行われたお申し込みは受理できない場合がありますので、お申し込み前に必ずご相談の連絡をお願いいたします。**
- 変更・取消：全建・西鉄旅行 共用アドレス
 Mail: nishitetsu@zenken.com までご連絡ください。
 なお、取消の場合は以下の取消料が生じます。

取 消 日	取 消 料
10日前 ～ 8日前	現場研修料の 20%
7日前 ～ 前々日	現場研修料の 30%
前日	現場研修料の 40%
当日	現場研修料の 50%
無連絡不参加及び開始後	現場研修料の 100%

8. 現場研修申込についてのお問合せ：西鉄旅行（株）全建担当デスク
Mail: zenken@nnr-g.com TEL 03-6742-0325
9. 現場研修の内容等のお問合せ：（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎
Mail: kensyu@zenken.com TEL 03-3585-4546
10. 旅行企画実施：西鉄旅行（株）東京団体支店
東京都港区東新橋1-8-3 汐留エッジ8階
TEL 03-6742-0325 FAX 03-6742-0328 MAIL zenken@nnr-g.com
登録番号：T2290001009530
観光庁長官登録旅行業第579号 （一社）日本旅行協会正会員
11. その他：
・ヘルメットの持参は不要です。必要な現場がある場合には全建にてご用意いたします。
・視察資料は現場研修の当日、集合場所にてお渡しいたします。
・参加証は全行程の終了後にお渡しいたします。
・参加者には国内旅行傷害保険をお掛けいたします。
・事故防止のため、自家用車での参加はご遠慮願います。
・詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込み下さい。

全建講習会 お申し込み方法について（FAQ）

●操作方法を教えてください

基本的な操作方法是、申し込みページのマニュアルをご覧ください。

ご不明な点は、西鉄旅行 全建デスク zenken@nnr-g.com までお問い合わせください。

●システムにアクセスできません／あるページから先に進めません

ご利用環境のセキュリティの問題の可能性があります。可能であればセキュリティレベルを下げる、外部接続可能な端末からアクセスする等の対応をお試してください。

●聴講の申込をしたのに、メールでは支払い金額が0円となっているのはなぜですか

システム上は現場研修料の支払い金額のみ表示されます。聴講料は選択した区分の金額を全建へお支払いください。（参照：第000回建設技術講習会【聴講】について）

●画面上で表示される「お支払い金額」に聴講料が含まれていないのはなぜですか

システム上は現場研修料の支払い金額のみ表示されます。聴講料は選択した区分の金額を全建へお支払いください。（参照：第000回建設技術講習会【聴講】について）

●複数名の申し込みはできますか

地方協会事務局や1名の方が代表してお申込みいただくことが可能です。

1名分の申し込みの後に、ユーザ情報登録確認メールに記載のURL、パスワードを使用してログインし、「新規申込み」を選択すると、複数名の追加申し込みをすることが可能です。

1つのメールアドレスでの申し込みが可能です。申込確認メール等は人数分送信されます。

●職場に個人用メールアドレスがなくても申し込みできますか

個人メールアドレスがない方は、所属先メールアドレス等での申し込みも可能ですが、自動返信される申込確認メール等が他の方に閲覧される可能性があることをご留意ください。私用のメールアドレス及び端末の利用もご検討ください。

●申し込み内容の変更・取消をしたい場合はどうすればよいですか

nishitetsu@zenken.com （全建・西鉄旅行 共用アドレス）までご連絡ください。

開催直前などお急ぎの場合は、まずは西鉄旅行 全建デスク（tel. 03-6742-0325）へお電話をお願いいたします。

●現場研修の支払い方法はどのようなものがありますか

銀行振込・クレジットカード払い・コンビニ払いが可能です。

クレジットカード払い・コンビニ払いの場合は、申込者の手数料のご負担はありません。

●支払い方法について相談させてください

以下までご連絡ください。

聴講料：全建 事業課 kensyu@zenken.com

現場研修料：西鉄旅行 全建デスク zenken@nnr-g.com (tel. 03-6742-0325)

●宿泊の斡旋はどこから申し込みできますか

開催案内ページ内の「宿泊斡旋のご案内」から、西鉄旅行㈱へお申し込みください。

●交流会の参加費はいつどこで支払えばいいですか

現地で聴講の受付時、現金でお支払いいただきます。できるだけお釣りの出ないようにご協力をお願いいたします。

●自分の協会からの参加者を確認するにはどうすればいいですか

お手数ですが全建 事業課 kensyu@zenken.com まで、必要の都度ご連絡ください。

【講習会会場及び現場研修集合場所等 案内図】



第706回建設技術講習会に参加の皆様へ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



(一社)全日本建設技術協会の建設技術講習会・実地研修会は、全国から多くの方々にご参加いただいています。この機会を、参加者同士が交流を図り、意見交換・情報交換を行うことで知見と人脈を広げ、今後の業務に役立てていただくため、必要とされる感染防止措置を講じた上で、「参加者同士の交流会」を開催する予定です。

この交流会は、講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流を図る場でもあります。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和6年10月2日（水） 17：30 ～ 19：00（予定）

場所：レストラン アンドミー（水戸京成ホテル）
（会場及び現場研修集合場所案内図 参照）

会費：2,000円
（受付時にお支払いください）

※都合により、開催を中止とすることがあります。
※参加希望人数によって、開催を中止とすることがあります。

※開催時間は変更になることがありますので、開催当日にご案内いたします。

※参加希望の方は、申込ページの「交流会」欄の「参加する」を選択して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※服装は特に問いません。



1. 研修会の参加者同士の交流促進を図る

①参加者の知見と人脈を広げる（名刺交換） ②意見交換・情報交換

2. 参加者と講師との交流・懇談

①講師との交流

②質疑応答など

・参加予定の講師：国交省 土師氏、大阪市 吉澤氏、水戸市 須藤氏

※都合により変更になる場合があります。

＜問合せ＞ (一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当

TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

宿泊斡旋のご案内

参加者には、西鉄旅行㈱が開催地ホテルへの宿泊斡旋をいたします。
講習会参加のお申し込みと併せて、下記ページからお申し込みください。

https://niccs.nishitetsutrans.co.jp/ntc_evt_reception/app/QG01189305

お問い合わせ先：西鉄旅行（株）東京団体支店
全建担当デスク
Mail：zenken@nnr-g.com
TEL：03-6742-0325

申込み後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。